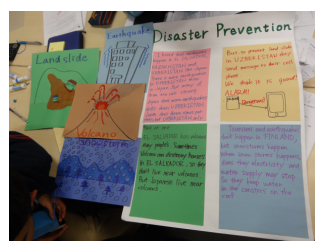
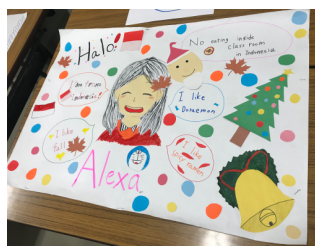


「世界」とふれあいながら、自身の成長を実感し、夢中になって取り組める「道しるべ」としての学校行事の実現に向けて



GEP Quiz!

Q:研修の活動において、今取り組んでいる対象に心理的エネルギーが100%注がれている状態を「○○○体験」といいますか？

ヒント:右図を参照

(※答えは裏面に記載)

参加生徒の学年に応じた段階的なプログラム設計

世界各国から集まる留学生(GEPメンバー*)と一緒に活動するGlobal Villageでは、中学、高校三年間、または中高六年間を通して、学年毎の行事を継続的なプログラムとして設計、実施することが可能です。

各学年で設けられた「世界とふれる機会」、「適切に設定された目的とテーマ」によって掻き立てられる興味関心と、活動を通じて実感できる自身の英語・コミュニケーションスキルの向上が、もう一つ上のゴール(次学年の行事＝道しるべ)に向けた自発的な学びの姿勢を生み出します。

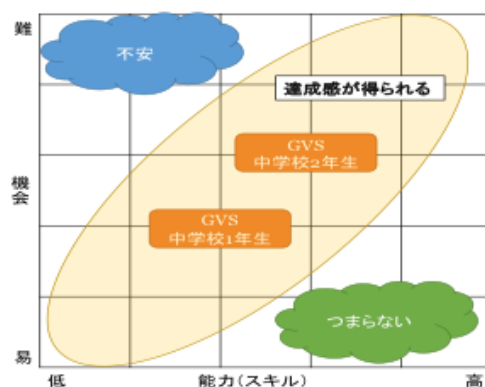
事例) 一貫したテーマとアレンジされた活動内容

大阪の中高一貫校では、中学校一、二年生の行事として校内でのGVSプログラムをそれぞれの学年で二日間実施しています。この学校では二学年とも「理想の未来」をテーマに活動に取り組みます。

一年生は、まずは「英語を使うことが楽しい」、という世界の人々と通じ合える喜びを感じ、GEPメンバー独自の視点にふれた上で、「理想の未来を描くこと」をゴールとして活動していきます。二年生では、コミュニケーションの密度を上げ、一年生よりも多くアウトプットする機会を設けています。二年生ではさらに、「理想の未来を描く」のみでなく、「理想の未来」を実現するために「解決すべき課題を発見」し、「解決策を考えること」もゴールとして含めています。

一貫性を持ったテーマに、難度・深度を変えて繰り返し取り組むことで、参加生徒が日常の授業で得た知識やスキル、それにとまなう自身の成長を肌で実感できる機会となっています。

能力と挑戦のバランス



GEP Quiz! 答え

A:フロー体験

Mihaly

Csikszentmihalyi

(ミハエル・チクセントミハイ)が提唱した「フロー体験」では、自分の能力に対して適切な難易度のものに取り組むことが必要です。研修において、簡単すぎることや難しすぎることに取り組んでいると、参加者はつまらなくなり、心理的参加レベルが低くなります。「フロー体験」の考え方ではこのような「ハードル」の設定の他にもいくつかの観点が存在します。

(出展:「フロー体験 喜びの現象学」Mihaly Csikszentmihalyi (原著), 今村 浩明 (翻訳) 1996)

自分の成長を振り返り、課題を発見する機会

中学二年生のコメント

・去年より英語が話せるようになって、留学生の言っている英語が理解できておもしろかった。

・いろいろなことを学べて、さらにチャレンジができたのがよかった。

「できなかったこと」、「できるようになったこと」を「実体験、経験を通して」認識することで、自ずと次の目標が見えてきます。与えられたものではなく、自分自身の中での尺度、目標感を持って(日常ではふれあう機会の少ない)世界の仲間との協働に挑戦することで、自分の可能性に気づき、それまでは「未知だった世界」とのつながりを実感し、自身の将来、未来を自分自身で創っていくための一助となることを願っています。

継続的なプログラム構築のための連携体制

継続的且つ長期的なプログラムを構築するために欠かせないのが学校との連携体制です。

学校のミッション、それを実現するために各学年に設定されているテーマや目的を把握すること、そして何より、参加生徒の「状態」を把握することが必須となります。

事前の打ち合わせ、プログラムの現場における密なコミュニケーションを通じて、都度活動内容にアレンジを加え、調整を繰り返しながら、その場だからこそ実現できるプログラムを GEP メンバー、参加生徒さんと共に形成していきます。

先に述べた大阪の学校では、活動している生徒の様子を見ながら、先生方からコメントやアドバイスをいただきプログラムを進めました。プログラムの現場で起こったこと、生徒が変化していく様子を都度、先生方と共有することで、日々の授業や特別活動と有機的につながり、プログラムの「道しるべ」としての位置付けがより活かせるものになると実感します。

学習者を中心に、そして学習者と一緒になって、複数の学年にまたがって継続的に関わることでできるこのような機会は、GEP メンバー、私たち LbE Japan スタッフにとっても、生徒さんの変化を目の当たりにできる貴重な学びの機会です。

※GVS=世界中から集まる留学生「GEP メンバー」との協働体験型学習プログラムです。

※GEP=Global Education Project (GEP)は、LbE Japan のミッション「世界の人々との協働を通じて明るい未来を実現する」に共感した留学生のコミュニティです。

この度は Global Village Newsletter 第 6 号を手にとりいただき、誠にありがとうございました。これからも、日々増え続けている「学びの場面」の事例をピックアップしてご紹介させていただきます。

(編集担当: 片山 奈々)

株式会社 LbE Japan (エルピージャパン) <http://www.lbejapan.co.jp> info@lbejapan.co.jp